

ここがまだまだ！ アレルギー対応できていない富士見市の学校給食！

富士見市でアレルギーを持つ児童生徒は197人（小中学校）。
厚労省ではアレルギーを持つ児童であっても給食対応するよう
ガイドラインを定めていますが、
現状、給食センターにはアレルギー対応の調理室がないため、
アレルギー除去給食の提供ができていません。
議会の質問の中で、
市は令和12年に給食センターの施設見直しを検討しているとの答弁。
早期に給食センターの施設充実が必要です！



●加賀奈々恵プロフィール
富士見市議会議員・鶴瀬東2丁目在住
平成3年5月19日生まれ（29歳・AB型）
自身の不登校経験から多様な学び方・生き方の実現が公約



発行 加賀ななえ議員事務所 加賀ななえ

議会の質問内容

第二運動公園を利用しやすい環境に



Q 第二運動公園にナイター設備の設置を。
現状でも夏場は夜間も利用できるように
利用時間帯を拡大するべき。

A ニーズについて調査をする。



部長

アレルギー除去給食の提供を



Q なぜ富士見市ではアレルギー除去給食を
提供できていないのか。

A 施設に空きスペースがないことから
アレルギー専用調理室を
設置できないため。



部長

良かったこと

第二運動公園の利用時間帯の
利用時間帯の拡大に向けて
市がニーズの調査を行うこと



6月議会